コミュニティ・スクール新聞

発行所
藤中学区
学校運営協
議会　事務局

毎月の風物詩となったにこにこあいさつ運動

昨年10月からスタートした『にこにこあいさつ運動』。25日を基本として毎月続けられてきました。50箇所に5本ずつののぼり旗を立てて、毎回250名以上の方々にご協力を頂いています。子どもたちの成長に尽力している多くの方々の姿に接することで、子どもたちも地域に対する愛着や誇りを高めていけるのではないでしょうか。

ボランティアも地域の宝

上記の写真は一学期最後の稲葉小学校前での『にこにこあいさつ運動』の様子です。実は当日、激しい雷雨があり天候不順でした。そのため保護者の車で登校してくる児童も少なくありませんでした。この朝は、稲葉小に限らず、多くの方が子どもの登校の安全を心配したと思います。あいさつ運動にボランティア参加していただいている皆さんにとっても安全は何より大切です。これからも天候不良が予想されます。実施にあたっては気象状況に応じて各所・各自で安全を最優先に判断していただきたいと思います。徒歩で登校してくる児童・生徒がいる一方で、車で登校してくる子どもたちも多かったという事は危険を一律に判断できないということではないでしょうか。安全第一でお願いします。

小中一貫教育合同研修会

令和４年度の第一回小中一貫教育合同研修会が7月26日(火)、藤枝中学校を会場として実施されました。当日は藤枝中学校区の小中４校の先生方が集まり熱心に研修しました。

また、今回は研修会の初めに、(株)えて代表取締役・安池中也氏による講演会を図書室をメイン会場とし、6つの部会が開かれた各教室とつなぎ、リモートで実施しました。演題は『新しい時代を生きるために～思い込みを取り外し、夢をデザインする～』でした。

講演では、安池氏本人の経験を基に、人権やLGBTQに関するお話をして頂きました。

『知らないことを自覚すること』『当たり前を見直すこと』『誰もが生きにくさや悩みを持っていること』『事実と向き合うことの大切さ』『一人一人の思いや行動の小さな積み重ねが社会をより良く変えていく』などの胸を打つ内容に多くの教職員が目頭を熱くしました。

尚、講演後に開催された6つの部会は、生徒指導・研修・学習・特別活動・特別支援・教務です。

ふるさとの先達！

静岡県スポーツ協会常務理事　福永 秀樹

藤枝で生まれ育ち、静岡県庁に就職しました。最後の4年間は県教育委員会で、学校体育や安全対策などに取り組みましたが、それまでは2002年W杯や国体、浜名湖花博、東京・大阪では静岡県の観光や名産品の紹介などをしていました。その時に県外の方から藤枝に行った思い出話など聞くと、とても嬉しかったことを覚えています。41年間の公務員生活では本当に幅広い分野の皆様とお付き合いできました。異動先が初めての分野が多かったため、とにかく直接お話をすることを心掛けました。最初は緊張しましたが、皆様に支えられ、貴重な経験と良い思い出がたくさんできました。現在の協会でも、スポーツ振興や県武道館の管理を行っていますが、新しい出会いを大切にしています。初めての人と話すのは勇気がいりましたが、素敵な人達との繋がりは、一生の宝になりました。